

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン

フルミスト点鼻薬について

毒性を弱めた生のインフルエンザウィルスを、鼻の粘膜に吹き付けることで免疫をつけるワクチンです。従来の不活化ワクチンとの違いは、針で注射する必要がないことだけでなく、鼻からのインフルエンザウィルスの侵入そのものを阻害できるため発症予防効果も高く、免疫効果も1年程度と長期持続が期待できます。

アメリカでは、2003年から、ヨーロッパでも2012年から使用されており、今シーズンから日本でも承認されました。接種できるのは、2才以上19才未満の方のみです。

接種方法

左右の鼻にワクチン液を0.1mlずつ直接噴霧します

接種回数はシーズン中に1回（当院での接種費用 税込み8500円）

副反応

発熱（5.9%）、咳（27%）、鼻汁・鼻閉（59%）、咽頭痛（17%）、頭痛（11%）、筋肉痛（1.8%）、食欲低下（5.4%）などが、接種後14日以内に認められることがあります。

フルミスト接種ができない方

- 2歳未満と19歳以上の方
- ゼラチンにアレルギーのある方
- 妊娠している女性（接種前後の避妊が必要です）
- 免疫不全症で生ワクチンが接種できない方
- ステロイド、免疫抑制剤、アスピリンを内服中の方
- 接種当日、鼻汁、鼻閉、大泣きしている子どもさんなど鼻炎症状のひどい方（ワクチン液が流れ出てしまう為）

接種にあたり注意が必要な方

- 卵アレルギーの方（程度によりますので、接種可能か医師にご相談ください）
- 乳児や、免疫不全症の方（生ワクチンが接種できない程度）と同居している方。（ワクチン液からの感染の可能性がゼロではないため注意が必要です）

その他の注意事項

- フルミスト接種後に、インフルエンザ迅速検査を行った場合、ワクチン由来の成分に反応してインフルエンザ陽性となることがあります。担当医にフルミスト接種したことを申告してください。